

おとなりアーティスト 2025

学校連携共同ワークショップ参加校募集要項

何ともいえない形

エッジのラインを変化させることによって接する隣り合った面も変化していきます。立方体というシンプルな形を通して、塊としての魅力を追求します。

その他、木っ端や丸太での造形など、人数や学校の実態に合わせたワークショップを提案します。



【開催日】9月～11月上旬の平日・土日祝

【受入校】小・中・高校・特支、あわせて4校程度
※小学校低学年は要相談

【人数】1度のワークショップにつき30名程度まで

【制作時間】3時間程度～要相談

佐藤 忠博 彫刻家

1970年 相馬市出身。

1998年 宇津孝志氏に入門。

2013年 入善町下山芸術の森発電所美術館にて個展「佐藤忠博 -silent-」。

2017年 富山県美術館にて子ども向けTADワークショップを実施。

2019年 シーラカンス毛利武士郎記念館にて個展「日常」。

近年富山県より福島県相馬市に拠点を移し、相馬市を中心に木彫による作品制作、子ども向けの創作ワークショップの活動を行っている。



毎日の色で染めるワークショップ

～もしもカレーがアートになったら～

通学路の草花や校庭の土など、身の周りには「染める」素材がたくさん。例えば給食のカレー。出てくる皮はどのくらいの量になるでしょう？実はにんじん、玉ねぎの皮、スパイスも染料になります。染めた紙や布は立体表現にも展開可能。理科・社会・探究にもつながる創造的なワークショップです。身近な色を染料にしてみよう！



【開催日】9月～11月上旬の平日（土曜日希望の場合は要相談）

【受入校】小・中・高校・特支、あわせて4校程度

【人数】1度のワークショップにつき30～40名程度

【制作時間】3時間～（数日に分けて実施も可能）

FRIDAY SCREEN

アートユニット

2015年「FRIDAY SCREEN」活動開始。

“From Local, For Local, With Local”をコンセプトに、デザインによる福島の地域資源の発掘と発信を目的に活動を行う。

地域に密着したプロダクトやグラフィックといったデザインの仕事のほか、ワークショップイベントや朝市などの企画・運営をはじめ、他分野の専門家とコラボレーションした商品開発やワークショップを行うなど様々な活動をしている。



お申し込みについて

対象 福島県内の小・中・高等学校・特別支援学校等
開催日 打ち合わせにて相談の上決定
開催場所 各開催校
経費 ワークショップに係る材料費等は無料
申込期間 **7月1日(火)～7月18日(金)**
事前打合 福島県立美術館で8月上旬に打合せを行う予定
申込方法 ご希望のワークショップをお選び頂き、下記の必要事項の内容とともにご連絡ください。
Tel **024-531-5511** Fax **024-531-0447**
※当館 HPより FAX 送信用紙をダウンロードできます。
<https://art-museum.fcs.ed.jp>

- 必要事項 ① **ご担当者のお名前** ② **学校名** ③ **学年**
④ **参加人数** ⑤ **参加形態** (クラス・部活動など)
⑥ **連絡先** (住所・電話番号)
⑦ **希望するワークショップ名**

お問合せ 福島県立美術館(学校連携共同ワークショップ係)

その他 ※参加校作品展における生徒作品の美術館への搬入は開催校にご協力をお願いします。

※ご質問・ご要望がございましたら係にご相談ください。

学校連携共同ワークショップとは

アーティストを講師に招き、各学校等で児童・生徒対象のワークショップを開催する事業です。招いたアーティストが学校に出向いて、児童・生徒と交流しながら創作活動を楽しみます。内容の詳細は、開催校の先生とアーティストが相談して決定します。ワークショップは授業のほか、部活動や課外活動等でも実施できます。

お申し込み後の流れ

- 7月 申込受付
※申込み多数の場合は抽選
8月 ワークショップの打合せ
先生、アーティスト、美術館スタッフの三者で相談
9-11月 各開催校にてワークショップ実施
1月 参加校作品展
美術館企画展示室で開催予定

アートで広げる子どもの未来プロジェクト

福島の未来を担う子ども達に、将来「新生ふくしま」を推進する人材として活躍してもらうため、多彩なアートプログラムを体験できるワークショップを実施することで心豊かな成長を支援します。